

## 太陽光発電設備の運用開始について

本州四国連絡高速道路株式会社では、地球温暖化対策、循環型社会の構築に向けた取り組みの推進に加えて、自然エネルギーの活用による節電及び大規模災害発生時の電源確保のため、本州四国連絡高速道路(株)神戸管理センターへの太陽光発電設備設置を完了し、8月10日から運用を開始します。

今回導入した太陽光発電設備を、平常時は本四道路における維持管理設備への供給電力として活用することで、節電対策にも取り組んでまいります。

また、同発電設備の導入により防災型連係システムを構築することで、災害時に商用電源及び非常用発電機からの系統が長期停電した場合でも、通信機械や防災用の照明、コンセントへ電力供給が可能となります。

### 1) 太陽光発電システムの概要

- ①設置場所 神戸淡路鳴門自動車道 垂水JCT(神戸管理センター)  
(兵庫県神戸市垂水区)
- ②規格仕様 最大発電能力は 20kW、年間予想発電量は約 2 万kWh  
パネル面積は約 150 m<sup>2</sup>
  - ※1. 試験調整段階での日平均発電量は約75kWh/日
  - ※2. 神戸管理センター内、防災関連施設電力使用量の概ね15%の給電が可能

### 2) 太陽光発電パネル設置箇所



### 3) 運用開始予定時期

平成24年8月10日より運用開始予定。

本四高速(株)では環境保全の取り組みとして、今後も自然エネルギーの導入を進め、環境対策及び節電対策を積極的に推進します。